

令和3年8月、臨時会を 開催し、新型コロナウイルス 感染症対策の関連補正予算を 可決

京都府議会だより

京都府に「まん延防止等重点措置」が適用され、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する対策が早急に必要となったことから、府議会は8月6日、臨時会を開催。

知事から、ワクチンの早期接種を促進するため、大規模接種会場を3カ所程度設置するため、予算のほか、搬送先が直ちに決まらない場合に、一時的に酸素投与等の措置を行う「酸素投与ステーション（仮称）」を設置する予算などが提案され、その内容について審議し、可決しました。



8月臨時会補正予算の概要

令和3年度京都府一般会計補正予算(第11号)
約274億円

○ワクチンの早期接種の促進	12.5億円
○酸素投与ステーション(仮称)の設置	2.6億円
○中小飲食事業者が行う宅配事業により 売り上げを確保する取り組みを支援	2.2億円
○京のブランド産品等を使用した 「京の涼風膳」の追加販売	1.2億円
○時短の要請に協力いただいた 事業者の皆さんへの協力金等	255.9億円

